

つながる新聞

Vol.97

発行 長沢まちづくり協議会
印刷 ASA南生田
編集 高橋工務店

☎044-976-0540
(ASA南生田)



<https://love-nagasawa.org>

南生田小学校

わくわくプラザ新聞記者

近くにロープウェイがあった



肌寒さの残る2月某日、南生田小学校わくわくプラザの『子ども新聞記者』が取材に出かけた。今回は、多摩区に於て存在したロープウェイの真相について、地元の歴史に詳しい岸井洋一さんに話を伺った。3年瀧渡さん、3年山口さん、2年池田さん、2年佐藤さん、2年西村さん、1年西村さんに加え、今回新たに1年の山田さんがメンバーとして参加し、ロープウェイがあったと言われる長沢浄水場付近に向かった。

未知の存在であるロープウェイについて、子ども新聞記者のメンバーは疑問に思うことをさくくばらんに質問してみた。
以下、ご主人と記者のやり取りである。

子ども記者(以下子)「多摩区にかつてロープウェイがあったそうでは？」



子「ロープウェイはどこにあったのですか?今もあるのですか?」
岸井「多摩区の長沢浄水場をつくるために、神奈川県西部の相模湖から砂利を運搬してました。相模湖↓長沢浄水場↓生田浄水場↓潮見台の西長沢浄水場をつないでいきましたが、現在は残っていません。」

子「ロープウェイ(索道)の痕跡は今も残っていますか?」
岸井「生田周辺は傾斜が多いため山を切りひらいた『切通』といわれるところにロープウェイ(索道)を通してました。現在も長沢浄水場の付近にその痕跡が残っています。」

子「ロープウェイはどれくらい長かったですか?」
岸井「相模湖から長沢浄水場まで南十kmも続いています。当時は、資材を運搬する車も少なかったため、このような方法で運んでいました。距離的には生田から箱根の半分くらいのイメージだと思います。」

子「ロープウェイはいつからいつくらいまで使われていたのですか?」
岸井「昭和25年くらいから昭和40年くらいまで、15年間くらい使われていたはず。」

子「ロープウェイはどんな形だったのですか?」
岸井「電柱柱くらいの高さの3本の支柱の間にロープを渡したものがいくつも連なった状態で、そのロープにドラム缶を半分に切ったようなものがぶら下がっていました。ちょうどかまぼこの中身をくりぬいたイメージです。」

子「そのロープウェイに乗ったことはありますか?何処まで載せられる大きかったですか?」
岸井「私が子どもの頃周りは山や畑だらけで、当時は木によじ登り、いたずらでロープウェイ(索道)の荷台部分に乗ったりしたこともありました。」

子「ロープウェイからどんな景色が見えましたか?」
岸井「昔は、今みたいにビルや家が建っていませんでした。遠くまで見渡すことができました。遠くの大山や富士山まで見ることができました。とても楽しかったです。」

子「ここからは岸井さん個人について質問をしました。」

子「岸井さんは今何歳ですか?」
岸井「今年で82才になります。みんなの10倍以上になりますね。」

子「岸井さんはいつからここ(南生田)に住んでいるのですか?」
岸井「生まれた時からここに住んでいます。私の父、お爺さんときかのぼって10代にわたりこの地に住み続けています。昔は『南生田』という地名はなく川崎市生田と呼ばれていました。」

子「そばとうどんはどちらが好きですか?」
岸井「そば、うどんに限らず食べ物は何でも好きです。昔は何でも食べないと生きていけない状況でした。みなさんも好き嫌いせずなんでも食べてください。」

子「何の果物が好きですか?」
岸井「りんご、梨、ミカン何でも好きです。」

子「岸井さんは地域でどんな活動をしていますか?」
岸井「子どもの頃からサツマイモの収穫やそばの実を挽いて粉にしたりするなど、農作業の手伝いをしていました。大人になってからは中学校のPTA会長や多摩区PTAの会長、防火協会の会長など地域のために尽力しました。」

子「子どもの頃何を遊んでいましたか?」
岸井「みんなは毎日何を遊んでいましたか?」
子「ゲーム!」

子「私が子どもの頃は外を走り回ってかくれんぼや鬼ごっこをしていました。また、メンコをして遊ぶことが多かったです。」

子「私も鬼ごっこ好き!」



お願い 資源回収
新聞・雑誌・ダンボール...
町内会・自治会・学校PTA
お住まいの地域で
資源回収を行っています。

収益は地域で使われます。

安心・安全・地域密着

防水・塗装
屋根の葺き替え
リフォーム
軽貨物
庭木の剪定
ハウスクリーニング

株式会社まごころ
0120-85-0556

あなたの町の大工
高橋工務店
☎044-977-2348

QR code for contact



く遊んでいました。今でも好きな場所です。」
子「好きな動物は何ですか?何か動物を飼っていましたか?」
岸井「亀、金魚、犬、猫なんでも好きです。昔はこの辺りのうちではチャボを飼っていた。また、牛や馬をだ卵を食べていた。また、牛や馬を飼っていて、牛から牛乳を搾り、馬はフンを肥料にしたり、農作業のために使ったりしていた。」
昨年記念すべき第1回の取材で訪れた「かどや」のご主人に伺ったとおりの風景が今回の取材で掘り起こされた。今回の取材で、子どもたちは地元の歴史に詳しくなることができた。今後も取材を重ね、記者の子どもたちが知識を深めると同時に地元へ愛着を持ってくれることを願う。

時代が変わっても子どもたちは元気に走り回ることが好きな様子です。」
子「近所で好きな場所はありますか?」
岸井「昔近所の神社の境内ですよ。」

みんなの習字 作品展

日時 4月18日(金)~23日(水)
12時~17時
場所 つながる広場

(バス停「西長沢」そば フィットケアデポ向かい)

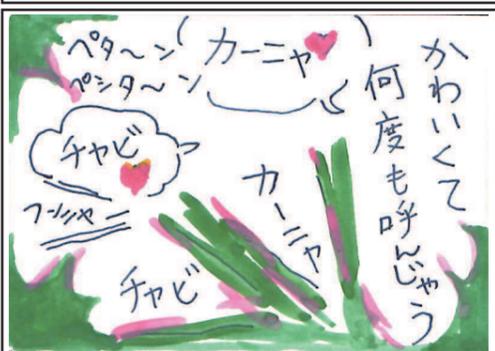
子ども、大人のお習字作品展です。お気軽にお越しの上、ご覧ください。



瑞蓮書道教室



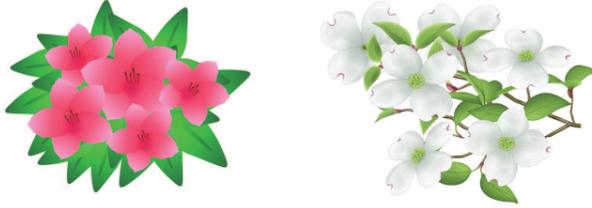
和野内祥瑞
瑞蓮書道教室 (長沢団地バス停側)



生田歌声喫茶
5月2日(金)
13:30~15:30
参加費300円 (会場) 鷺ヶ峰いこいの家
お問合せ 080-3159-6741 (わたなべ)

長沢商店会

花の写真コンテスト



長沢商店会主催の「花の写真コンテスト」が今年も開催される。商店会のメイン通り「西長沢交差点から東長沢交差点」までに咲く「はなみずき」と「つつじ」が対象。

長沢商店会
会員店頭ポスターで
ご確認ください!!



長沢の町が好き
お気軽にご応募ください!



子供はジュースが前にストローを噛んだり、折り曲げたり、ぶくぶくしたりお行儀悪く遊んでいます。でも成長が楽しみ。

吾子の囁む折れじストロー夏近心

作風の木原(高石在住)

青森県善知鳥神社②

にゃあちゃん(長沢在住)

一人で青森に旅行に来たというのと、観光案内をしてくれると言う。海を見ようと港に車に向かう。その日は天気は良かったが、雪の残る青森港は冷たい風が吹いていた。大きな船が停泊している。
「この船は何ですか」
「青函連絡船だ。記念館つうか見学できるんでねえの」
「何があるんですか」
「いやあ、おらは人ったことねえな」
「東京だと東京タワー行ったことない人多いですよ」
「え、そうけ。やつぼさういうもんなんだなあ」
あつはははと二人で笑う。
彼女は信心深いようで、神様はありがたい。こうして無事に暮らしているのは守ってくださっているからだ。と話してくれた。いくつかの神社に毎年奇進し、折に触れ手伝いもしているそうだ。
道の途中にあるとう神社に寄ろうという。え、とうとう...どういう字...社務所で、とうとう善知鳥と書くことを初めて知った。
大きく立派な本堂の裏手には流れるような形の池があり、赤い太鼓橋がかかり、大きな鯉がゆるゆると泳いでいた。別世界のような空間に思わず深呼吸した。
初対面なのに、駅まで送るに加えて観



光案内までしてもらった。車内のおしゃべりも興味深いことばかりで、青森駅の別れは名残惜しかった。
発車までの時間つぶしに構内のチェーン店のカフェに入る。
テーブルにパンフレットを広げていると、お冷を持った若い女性店員が声をかけてきた。
「観光ですか」
「はい、さつき善知鳥神社に行っただですよ」
「良い所だったでしょう。そこは青森県で一番立派な神社ですよ」
彼女はバツと目を見開き、我が事のように嬉し気に話すその顔はどこか誇らしげでもあった。
帰りの新幹線車内で、地元を愛する人達の心根に触れた良い旅だったなあとしみじみ思った。

長沢囃子保存会
会員募集



この地に長く続くお囃子で、長沢(長沢、南生田、東百合丘地域)を一緒に盛り上げていきませんか。長沢囃子保存会は、鎌倉時代創建の歴史と伝統ある神社「諏訪社」のお囃子です。
小学生以上、年齢・性別は問いません。まずは見学から、お気軽にどうぞ。



稽古日
子ども囃子(小学1年から) 土曜日14:00-16:00(月2回)
大人囃子 日曜日19:00-21:00(月2回)
(場所) 諏訪社 社務所

☎ 090-8464-0392 (米山)

編集後記

「つながる新聞」は、印刷・配布をASA南生田。編集を高橋工務店が協力し、長沢まちづくり協議会が発行する地域情報紙です。
現在は、長沢地域の情報を中心に発行していますが、西生田・寺尾台、菅馬場...などの情報も発信していきたいと思っています。
情報のご提供とご寄稿いただける方のご連絡をお待ちしております。



らふながさわ

TEL 044-976-0540

ASA南生田